

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月20日
2次評価日（課長等）	31年3月29日

1 事業名	看護専門学校運営事業			コード	44313	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	看護専門学校	作成者	林 秀紀
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	保健・医療の充実	施策	医療体制の充実	
		予算科目	看護専門学校運営事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市看護専門学校条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	全日制2年課程の看護師養成校の運営		
目的	対象者	看護師資格を得ようとする准看護師	
	意図	看護師国家試験の受験資格を得るために必要な知識・技術の習得	

5 施設の管理運営状況		30年度指定管理料	円
施設における 通常業務	看護師国家試験の受験資格取得に必要なカリキュラムに沿った教育の実施 学習環境の充実、向上 学校施設・設備の維持及び安全確保		
事業の実施内容	<p>（30年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> 岡谷市看護専門学校条例に基づき、管理運営を行った。 ・課程 医療専門課程 看護学科（2年課程） ・定員 1学年30人（2学年） ・学生数 1年生29人、2年生28人 ・カリキュラム 73単位、2,185時間		
前年度の課題 への対応	・准看護学校への訪問、情報交換、進学の実励 ・准看護師が勤務する病院への訪問、進学の案内 ・新聞広告によるPRの強化		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	-	-	-	-
年間開設日数（日）				
1日の開設時間（時間）				
年間利用可能時間（時間）	0	0	0	0
年間利用実績（時間）				
② 年間利用者数（人）	57	53	57	59
有料利用者数	57	53	57	59
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	-	-	-	-
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	44,673,641	18,423,601	16,975,529	20,088,000
経常経費	29,632,574	17,829,601	16,786,893	18,616,000
臨時的経費	15,041,067	594,000	188,636	1,472,000
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	64,000,000	64,000,000	64,000,000	64,000,000
正規職員の人数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00
③ 合計コスト(①+②)	108,673,641	82,423,601	80,975,529	84,088,000
前年度比		75.8%	98.2%	103.8%
財源内訳				
一般財源	77,751,060	53,491,557	50,109,554	52,127,000
特定財源	30,922,581	28,932,044	30,865,975	31,961,000
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	24,677,384	23,274,684	24,895,128	25,664,000
⑤ 年間減免措置額	32,000			
⑥ 受益者負担割合	55.3%	126.3%	146.7%	127.8%
⑦ 活動一単位あたりコスト	1,642,677	1,543,955	1,417,314	
前年度比		94.0%	91.8%	
⑧ コストに関する補足説明	H28に施設整備が終了し、H29以降は概ね通常の運営費用となっている。			

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況（項目6/住民の満足度）は向上しているか。	有効性	高い
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 -	1	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 107.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 准看護学校の学生数が減少傾向であることから、学生の確保が課題となっている。
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 准看護学校との連携を密にして、意欲ある現役の学生に進学を奨励するとともに、准看護師として勤務している社会人にも積極的にPRしていく。
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	屋根・外壁防水改修工事	円	予定時期 平成32年度以降
内容	建築後47年が経過し老朽化が進んだ学校施設の屋根・外壁の防水改修工事等		

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	44313	看護専門学校運営事業
-----	-------	------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	225,179		225,179	臨時業務員
賃金	1,566,765		1,566,765	臨時業務員
需用費	298,468		298,468	修繕料
役務費	82,393		82,393	保険料
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	2,172,805	0	2,172,805	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	0.20		0.20	人
合計	1,600,000	0	1,600,000	円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	3,772,805	0	3,772,805

施設の運営コスト計算シート

事業名	44313	看護専門学校運営事業
-----	-------	------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬	184,000		184,000	学校医
共済費	408,247		408,247	臨時専任教員
賃金	2,442,596		2,442,596	臨時専任教員
報償費	2,436,195		2,436,195	
旅費	155,887		155,887	
需用費	3,500,422	7,798	3,508,220	修繕費を除く
役務費	594,931		594,931	保険料を除く
委託料	2,357,821		2,357,821	
使用料及び賃借料	1,757,783		1,757,783	
原材料費	0	180,838	180,838	
備品購入費	84,598		84,598	
負担金補助及び交付金	691,608		691,608	
合計	14,614,088	188,636	14,802,724	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	7.80		7.80	人
合計	62,400,000	0	62,400,000	円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
使用料	24,895,128		24,895,128	
手数料	700,900		700,900	
雑入	5,269,947		5,269,947	
			0	
			0	
			0	
合計	30,865,975	0	30,865,975	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	46,148,113	188,636	46,336,749